

## 中西健二さんに出された不当な転勤・転職に抗議する！

2011年12月19日、会社は、中西健二さんに「三重支店松坂駅営業主任」(汽笛亭)への事前通知書を渡した。我々はこの不当な転勤・転職に強い怒りを持って抗議する。20年以上に渡り、三重の地で国鉄からJRへの移行に努力し、運転職場を守り、真面目に勤務してきた人に対するにはあまりにも酷い命令である。

12月3日、亀山駅構内の引き上げ線にある留置車両の手前3mに654C列車が誘導信号機で入換運転中に、突然ATS-STが動作して停車した。中西さんは、この異常現象に気が動転し、ATS-STのNFBを「切り」としてしまった。その後冷静になり指令に連絡を行い復帰扱いを行い所定位置まで入換を行ったのである。会社は、ATSの無断「切り」はいかなる理由があろうとも許される行為ではないとして、一週間ほど「振り返り日勤」をさせて、事前通知を出したのである。

全ての責任は運転士のみにあるとした今回の発令は許されるものではない。そもそもの原因は異常現象にあり、ATSの故障にあるのである。ATS-PTが導入されATS関係の取り扱いは複雑化された。想定された故障や以前にも異常現象が出た話を聞いていれば冷静に対処できるが、突然に大きな音量で警音が鳴動し始めれば気は動転し、取り扱いへの不安から冷静さに欠ける行動に出てしまうこともあるということである。三重支店ではこの事象のすぐ後にも同じようなATS関係の事象が発生している。罰のみではATS無断切りを防げない証左である。複雑な取り扱いを簡素にまとめていく努力と、異常時には冷静さを欠いてしまう人間の特性を考え訓練をしていくことが大切と考える。しかし会社は、この努力をせず規程をより複雑にし、そして厳罰主義を対策としているのである。

中西さんはこの事前通知に対し直ちに簡易苦情処理申告を提出し、転勤に納得がいかないことを明らかにした。22日に簡易苦情処理会議は開催されたが、組合の主張に対し会社は一方的に会議を打ちきったのである。

亀山分会からうどん屋への配転は、実に4人目であり看過できる問題ではない。明らかに、JR東海労への組織破壊と不当差別があるといえるのである。先に述べたATS関係の事象を発生させたもう一人の運転士は営業職への配転であることを鑑みれば明らかに不当な差別があるといえる。さらにはこの不当配転により亀山分会の組合掲示板を撤去すると伝えてくることが予測される。この発令は労働組合破壊であり不当労働行為なのである。さらには三重県協議会の議長である中西さんへの攻撃で三重県協議会の弱体化をもねらったものである。

我々は、会社の自らを律することなく全ての責任を現場労働者に転嫁するやり方を許さず、努力したものが報いられる会社にするために闘うものである。一切の組織破壊攻撃を粉砕し組織強化と拡大を目指して邁進していく。

2011年12月27日  
JR東海労働組合名古屋地方本部  
JR東海労働組合三重県協議会